

第75号
平成27年
2月

HPに創刊号から
連載中

もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意
深く徐々に試してください。

山田整骨院
熊本市中央区出水 4-25-1
096-364-7611

<http://yamadasu.com/>

熊本交通事故, 山田整骨院

<http://www//jiko-kumamoto.net/>

西式健康法に救われた私

熊本郵政西式同志会長 仙波 知

月刊西医学昭和33年2月号

西先生が西式健康法の講演に熊本に最初にみえたのは三十年前の昔、昭和二、三年の頃であった。…略…私はこの時の講演拝聴以来西式信者となってしまった。爾来私は西先生の著書は全部集めて公務の余暇があるごとによく読んだ。…略…私も人並みに家族の病気は心配したがその後は西式の実験ができるので面白くなった。実験の範囲は家庭内より親友や親戚の間へと広がって行った。今では「何でも持つてこい」の自信だけは強いものをもっているが私は職務の都合上決して療法のおしつけはしない。…略…

さて私の西式治験例を一二申上げてみる。

第一に狭心症…略…男子で発病当時45歳…略…農業をやっているものである。最も好むものが肉と焼酎、飲食共人並み以上に強い方である。かねては健康で病気など殆どしないが、ある年の秋、狭心症をおこし田舎町の医師にかかり医療を受く、医師が何を飲ませ何を注射したかは関知しないが、食事の指導はただ栄養を摂れ肉を食べ卵を吞めで焼酎だけは禁止した。この医師の治療と食養を三ヶ月続けたら病状は段々ひどくなる一方で遂に食欲を失うに至った。ここで患者もいよいよこれではだめだと思いつき、私に依頼してきた。そこで私は彼とその妻君を並べて云ってやった「私には初めからあんた方のやり方では治らぬと思っていた。これからわしの云うとおり絶対実行すると誓うなら、おしえよう」と、すると彼曰く「どんなことでもやるから教えてくれ、このままではとても駄目だ」と、そこで私は肉食を厳禁し、野菜五種類以上の食生活法を指示した。然し完全生食ではなく米食の少量は許した。これは米食をも厳禁したら、おそらく実行不能に陥るだろうとおもったからである。それで食事の時はなるべく生食を比較的多く食って米食を少く食うことに努力するよう勧めた。米食のおかずは「大根おろし」にきめた。これを「わしがもうよからうと云うまで続けること」に約束した。

彼も妻君も真剣だったので効果はてきめん、発作は数日で全くやんだ。二週間もしたら鯛のさしみ位は少し食いたいと云い出しましたが許さなかった。二ヶ月位してから少量の魚は許した。こう云う工合にして凡そ半年、養生を続行させ全快した。その後今日まで七、八年全然起こらず、最近はや元のひどい焼酎呑みの生活にもどってしまっておるが、まだ何ともない。…略…

第二として胃潰瘍、これは私の友人、男子 51 歳、この人も焼酎が大の好物、消化系統を悪くし下痢し、やせていたが昨年の夏大下血して倒れた。私はこれに玄米の三十倍重湯法と生食のすりつぶし汁をもって二週間で快復させその後職場に帰り今日まで働きどおしでなんともない。このような例も外に数例あるが適当なる西式法をやれば必ず効果あることは自信満々。

第三は睾丸炎、これは 40 歳の男子、陰囊が夏みかん大に赤く腫れ、一寸触れても痛くてたまらぬと云う奴、私はこれを四日間の西式断食療法と局部に対する七掛温冷湿布で全治させ、その後十年間なんともない。

第四に、子供の病気、私はこれは殆ど総ての場合、最初にスイマグ微温湯の浣腸をさせてから症状により足湯法やカラシ泥法等、適当と思う西式法をやらせておるが子供の病気ほど簡単に治るものはない。

私は西式の四大元基、四大原則、六大法則を終生忘れ得まいと思っている。腺病質で消化系統が弱かった私は西先生に御縁があったお陰で今日を生きていると確信しておるものであり、若し西式を知らなかったらおそらく私は既に灰となって今年は二十五年忌位に当たるだろうと思っている。私は本来の私の生命に西式はおそらく七十五年の生命をプラスしてくれるだろうと自信を持ち得ることを甚だ欣快とし光栄とし感謝するものである。

あ と が き

筆者の仙波知さんは、平成 20 年頃百一か百二才で逝去されました。この随筆の投稿が昭和 33 年ですので、当時 50 才位であったと推測されます。ここに書いてありますように病弱であった筆者が西式により寿命が 75 年プラスされたという表現はあながち誇大ではないと思います。平成 3 年に山田整骨院は開業いたしました。同じ西式の同志ということで何度か来院されました。私もご存命中にお宅を訪問して西式の実践等について歓談しました。そういうご縁で、平成 22 年 10 月に仙波さんが昭和 2、3 年頃より収集された西式関係の書籍をご遺族よりお預かりし保管しています。そしてこの月刊「もう一つの道」やホームページ等で西式の書籍の内容を紹介しています。昭和 24 年発行の西勝造先生のご著作「健康読本」は新生民主国家日本国民のために、戦後改めて、基本から科学的に詳細に分かり易く書かれており私は名著だと感じております。それ故私のブログやホームページ、そして Facebook で内容を紹介しています。読まれる事をお勧めします。

昭和初期からの雑誌及び書籍ですので、学説から体験談等々多種多様な内容です。特に実践した後の結果の体験談は説得力がありますので、それらを当院発行のもう一つの道に連載しています。第 30、32、35、36、37 で戦時中の西医学の実績を載せています。昭和 11 年 9 月発行のテトラパシー（西医学を象徴する正三角形四面体を書名にしたもの）第一巻合本に、熊本濟々齋、有斐学舎、東京帝大医学部出身の高田隣徳先生の随筆「西式療法を応用して百分の好成績」が掲載されています。◎自然受胎癒しセラピー（不妊治療）の無料モニターを引き続き募集中です。お悩みのお知り合いにご紹介お願いします。しっかりした理論と豊富な実績に基づいています。

